

平成28年度 沖縄県公文書館
公文書管理講座

公文書の評価選別

—なにを**残**し、なにを**捨**てるか—

沖縄県が日々の業務で作成・収受する大量の公文書は、保存期間満了後、公文書館に引き渡されます。これらの公文書の中から、歴史資料として重要なものを選んで残す作業=評価選別が、公文書館の重要な仕事です。その作業は、どのような基準をもとに行われるのでしょうか。沖縄県と群馬県のケーススタディーをもとに考えます。

2016年 **12月3日** 土

■時間 午後2時～4時

■会場 沖縄県公文書館講堂
南風原町字新川 148-3

■受講料 無料

■定員 40名(先着順)

■申込方法 お電話でお申込み下さい
☎098-888-3875

■プログラム■

1 「沖縄県公文書館における評価選別の実践 —シリーズ選別という手法」

講師：福地洋子 (公財)沖縄県文化振興会 公文書主任専門員



2 「群馬県立文書館と県内市町村の協働による 評価選別ガイドライン」

講師：小高哲茂 群馬県立文書館 公文書係指導主事



*バックヤードツアー(施設見学)もあります(希望者のみ)。
午後12時30分～1時30分まで。電話申込み時にお申し出ください。

■交通案内

・那覇バス

1. 2. 3. 4. 5. 14. 15. 16 番
「新川営業所」下車徒歩3分



・東陽バス 191 番

「県立医療センター前」下車徒歩15分

■主催 沖縄県公文書館指定管理者
(公財)沖縄県文化振興会

駐車スペースが限られていますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



Okinawa Prefectural Archives
沖縄県公文書館

